

今後園児(教職員)およびその家族等が感染者に特定された場合の対応

段階	園内の子ども(職員)の状況
1	感染者・濃厚接触者なし
2	濃厚接触者に特定
3	感染者に特定

段階：2

幼児 A (教職員 A) が、濃厚接触者と特定

→ ※ 同居の家族の感染が確認された場合など

◆ 幼児 A (教職員 A) が陽性の場合に備えて、園内で協議し対応を検討、決定。園長は、私学振興課、保育・幼稚園課へ報告するとともに、必要に応じて加盟団体(私立幼稚園協会等)にも報告。
○ 幼児 A は、出席停止(教職員 A は勤務させない)

幼児 B が感染者と特定

幼児 A (教職員 A) は、PCR 検査

段階：3

陽性

陰性

段階：2①

◆ **緊急時**：担任が状況を聴取し、それに応じた対応案(例…以下ア～ウ)を検討し、園長の了解を得て指示。
時間的に可能：園長および副園長と対応を協議、決定。

ア：該当園休園 イ：陽性幼児学級・学年を閉鎖 ウ：関係者を出席停止など

○ 感染者 A (B) は、医師の許可が出るまで出席停止(教職員は勤務させない)
※ 感染経路の究明、濃厚接触者の特定(保健所)

○ 幼児 A (教職員 A) は、2週間出席停止

◆ 保健所、園医、関係部局の意見を参考に、園長および副園長で協議、決定

段階：3 《例①》

段階：3 《例②》

段階：3 《例③》

極めて感染拡大の恐れが少ない
(濃厚接触者が少ない、感染経路が判明、園外で感染など)

感染拡大の恐れはさほど大きくない
(濃厚接触者が複数いるが、感染経路が判明、接触者が少ない)

極めて感染拡大の恐れが大きい
(濃厚接触者が多い、複数の感染者判明、感染経路が判明不明など)

○ 原則休園、閉鎖等は実施せず
○ 休園等の措置がある場合は解除
○ 濃厚接触者は、2週間出席停止

○ 原則休園等解除(感染の可能性のある学級・学年等の集団は出席停止継続もあり)
○ 濃厚接触者は、2週間出席停止

○ 休園または感染の可能性のある学級・学年等の集団は出席停止継続(2週間)
○ 濃厚接触者は、2週間出席停止

経過観察

経過観察

出席停止等を解除

登園再開(目安は2週間)